

『軽費老人ホーム いずみ寮』

いずみ寮施設長

藤原 昌史



夏空が眩しく感じられる
頃になりましたが、皆様い
かがお過ごしでしょうか。

今月号はみぎわ会のいずみ寮の現況をお伝えします。昭和56年4月1日に開寮され今年で44年目を迎えています。

令和7年6月時点で⁴⁰⁵名の方がいずみ寮で生活され、現在、男性7名女性43名計50名の方が生活されております。

いずみ寮開寮当時に比べますと自立の方は少なくなりましたが、皆様には自分のお部屋（空間）があります。トイレ、お風呂は共同ですが毎日、楽しみをもって自分のペースで生活されています。毎日、朝のラジオ体操、レクレーション（習字、脳トレ、歌の集い、グランドゴルフ等）各季節に応じた行事、買い物外出、地域交流喫茶コーナー（月1回）など楽しまれています。

また、行事の他にも皆様の楽しみの一つが3食の食事です。

みぎわ会は開設以来、直営給食で行っており季節を感じられる食材を使用し、毎月の誕生食、お楽しみ献立、行事食など本当に充実した献立は皆さん喜ばれております。

また、いずみ寮の「いずみ」は聖書の一節「わたしが与える水を飲むものは、いつまでもかわくことがないばかりか、わたしが与える水は その人のうちで泉となり永遠の命に至る水がわきあがるであろう」（ヨハネによる福音書4章14節）から命名されています。皆様にとっていずみ寮がオアシスとなるよう努めていきたいと思っています。

最後に、コロナウイルス感染症も社会においても色々な事が緩和されていますが、感染力は非常に強く一気に拡がることや、リスクがあることは変わらないと思っています。また、コロナウイルスだけでなく他の感染症についても同様に感染予防に努めて参ります。

皆様におかれましては暑さも増してくる時期となりますので、くれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。

